

おいしさと健康

Glico

第104期

報告書

[平成20年4月1日 ▶ 平成21年3月31日]



江崎グリコ株式会社



Glicoの理念
おいしさと健康

おいしさの感動を、健康の喜びを、
 生命の輝きを

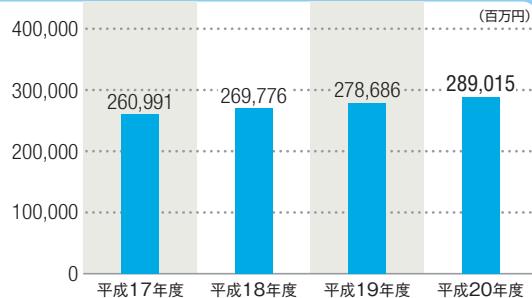
Glicoは、ハート・ヘルス・ライフのフィールドで
 いきいきとした生活づくりに貢献します。

C O N T E N T S

株主の皆様へ	2
部門別の概況(連結)	3
2009年3月期の実績と2010年3月期の計画	5
連結決算の状況	7
単独決算の状況	9
ニュース	10
トピックス 新製品のご紹介	11
会社概要	15
株式の状況	16
株主メモ	17
株券電子化後の各種手続きについて	18

財務ハイライト | 連結

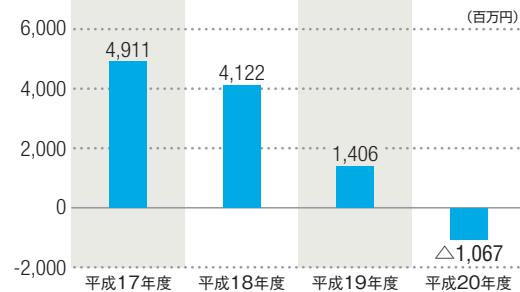
売上高



経常利益



当期純利益



1株当たり
当期純利益



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。当社の第104期報告書をお届けするにあたり、ひとことごあいさつ申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国発の世界的な金融危機による株価の下落や急激な円高の影響を受けて企業収益が大幅に悪化し、景気はかつてない減速局面を迎えました。また、食品偽装事件等の多発による「食の安全、安心」に対する不信感や雇用・所得環境の悪化から、消費者の「生活防衛意識」が高まる等、食品業界にとっては厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「グリコグループ行動規範」に基づき、信頼される企業であり続けることを事業展開の基本としながら、主力品の強化、新製品・系列品の発売、自動販売機や職場専用ボックスでの販売等による販売拠点の拡大や各々の流通形態に適合した販売対策を積極的に展開いたしました。

その結果、売上面では、菓子部門、冷菓部門、牛乳・乳製品部門、食品部門、畜産加工品部門の全ての部門において前連結会計年度を上回ったため、当連結会計年度の売上高は289,015百万円となり、前連結会計年度(278,686百万円)に比べ3.7%の増収となりました。

利益面につきましては、国際的な原材料価格の高騰に対し、

取締役社長

北崎 勝久



製品規格の変更、使用原料の見直し等、さまざまな対応策を講じた結果、売上原価率はダウンいたしました。一方、主力既存品への注力や新製品の発売等、積極的な販売促進活動を行ったことにより販売促進費が増加いたしました。その結果、営業利益は6,401百万円と前連結会計年度(4,267百万円)に比べ2,133百万円の増益となり、経常利益は7,196百万円と前連結会計年度(5,132百万円)に比べ2,064百万円の増益となりました。

また、当連結会計年度は固定資産売却益等を特別利益に、投資有価証券や固定資産に関する減損損失等を特別損失に、減損資産に係る繰延税金資産の取崩額を法人税等調整額に計上いたしました。その結果、当期純損失は1,067百万円となり、前連結会計年度の当期純利益(1,406百万円)に比べ2,474百万円の減益となりました。

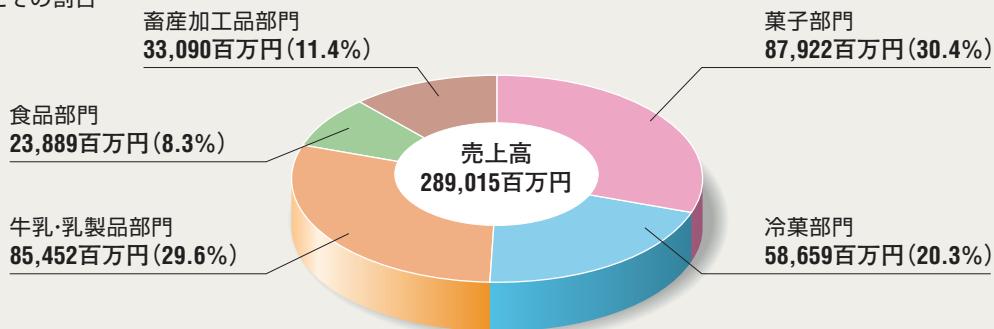
なお、配当金については、中間配当(1株につき5円)に加え、1株につき10円とさせていただきます。当社を取り巻く環境は益々厳しくなっておりますが、全社を挙げて業績の向上をはかり、株主の皆様のご期待におこたえする所存でございます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

部門別の概況 連結

部門別売上高とその割合



菓子部門

87,922百万円

前年同期比1.4%の増収



国内では、新製品“チーズ”が順調に売上を伸ばし、「ビスコグループ」等も前連結会計年度を上回りましたが、“メンタルバランスチョコレートGABA”や“キスマントガム”等は前連結会計年度を下回りました。一方、海外では中国が当連結会計年度も引き続き順調に売上を伸ばしました。その結果、当連結会計年度の売上高は87,922百万円となり、前連結会計年度(86,740百万円)に比べ1.4%の増収となりました。

冷蔵部門

58,659百万円

前年同期比5.8%の増収



主力品の“パピコ”や“ジャイアントコーン”が好調に推移し、新製品“パリッテ”や“ミニセレ”等も増収となり、卸売販売子会社も増収となりました。一方、“和ごころ”、“アイスの実”等は、前連結会計年度を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は58,659百万円となり、前連結会計年度(55,469百万円)に比べ5.8%の増収となりました。

牛乳・ 乳製品部門

85,452百万円

前年同期比2.3%の増収



新製品“ドロリッチ”が順調に売上を伸ばし、“マイルドカフェオーレ”等の乳飲料も前連結会計年度を上回りました。一方、清涼飲料やプリン及びヨーグルトは前連結会計年度を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は85,452百万円となり、前連結会計年度(83,499百万円)に比べ2.3%の増収となりました。

食品部門

23,889百万円

前年同期比10.9%の増収



主力の“2段熟カレー”及びスナックスープが前連結会計年度を上回り、“ちょい食べカレー”も順調に売上を伸ばしました。また、“カレー職人”や“LEE”等のレトルトカレーも堅調に推移いたしました。その結果、当連結会計年度の売上高は23,889百万円となり、前連結会計年度(21,550百万円)に比べ10.9%の増収となりました。

畜産加工品 部門

33,090百万円

前年同期比5.3%の増収



主力の“バリッと朝食ウインナー”等のソーセージやベーコン関係が前連結会計年度を上回りました。また、A-グル、澱粉等の食品原料も前連結会計年度を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は33,090百万円となり、前連結会計年度(31,425百万円)に比べ5.3%の増収となりました。

2009年3月期の実績と2010年3月期の計画

選択と集中を徹底し、国内事業の収益力強化、

2009年3月期 実績

売上高
2,890億円  **+103**億円
(08/3月期比)

営業利益
64億円  **+21**億円
(08/3月期比)



事業全般の概況

2009年3月期の売上高は289,015百万円となり、計画^{*}を1,000百万円下回ったものの、前年同期と比べて3.7%の増収でした。営業利益は6,401百万円と、計画を500百万円上回り、前年同期と比べ50%の増益となりました。

※計画:第3四半期決算発表時(1/29)の業績予想

2009年3月期の重点取り組み

●大型新製品の投入・育成

新たに市場に投入した“チーザ”、“かるじゃが”、“ドロリッチ”が5,000百万円の増収をもたらしました。“Walky Walky(ウォーキーウォーキー)”、“ポスカ”は減収となりましたが、トータルでは前年同期と比べ13,500百万円の増収となりました。

+135億円
(08/3月期比)

●海外事業の推進

タイ、中国いずれも現地通貨ベースでは増収となりました。しかし急激な為替変動により、円に換算すると、タイでは前年同期と比べ750百万円の減収、中国では750百万円の増収となり、海外事業全体での収益の増減はありませんでした。

±0億円
(08/3月期比)

●コストの吸収

既存主力品の規格変更や継続的な経費節減により、年間6,200百万円のコストダウンを実現しました。

62億円

2010年3月期 計画

2010年3月期の重点取り組み

①国内事業の収益力強化

- 主力品、および2~3年目製品の売上拡大
- 製造原価ダウン

②海外事業への積極投資の継続

①国内事業の収益力強化

●主力品、および2~3年目製品の売上拡大

- 菓子部門:“ポッキー”、“プリッツ”、ガム、“かるじゃが”等の製品を増販し、売上高を2009年3月期と比べて2.9%増やす計画です。
- 冷菓部門:“ジャイアントコーン”、“アイスの実”等の分布拡大により、2009年3月期並の売上を確保します。
- 食品部門:“2段熟カレー”の分布拡大に取り組み、売上高の0.5%増収(2009年3月期比)を目指します。
- 牛乳・乳製品部門:“カフェオーレ”等主力品の製品力強化と“ドロリッチ”のブランド定着に取り組み、売上高で1.0%の増収(2009年3月期比)を計画しています。



●製造原価ダウン

不採算製品の販売終了や、工場の生産性向上等により、製造原価の低減に努めます。

海外事業への積極投資を推進します。

2010年3月期は、2009年3月期に比べ売上高4,500百万円の増収、営業利益2,800百万円の増益を計画しています。それを実現するため、①国内事業の収益力強化、②海外事業への積極投資の継続に取り組みます。いずれも選択と集中を徹底し、計画達成を目指します。



売上高
2,935億円  **+45億円**
(09/3月期比)

営業利益
92億円  **+28億円**
(09/3月期比)

②海外事業への積極投資の継続

●タイ

売上高2,423百万パーツ(≒約67億円)と減収見込ですが、景気が回復次第、増収増益基調を継続させる計画です。既存ブランド品の販売促進を強化する等、今後の健全な発展を遂げるための基盤づくり、体制強化に努めます。

- ポテトスナック“スピッキー”を発売し、スナック菓子分野に新たに参入します。
- バンガディに新工場の建設用地を取得する計画です。



バンガディ工場



スピッキー

●中国

売上高672百万円(≒約97億円)を目標に、既存ブランドの強化や販売エリアの拡大を進めます。またシステム更新等によって経営機能・体制を強化するとともに、経費の効率化やコストダウンを図り、収益性向上を目指します。

- 第1、第2工場への合理化投資と稼働率向上を進めます。
- 第3工場への設備導入を計画通り完了させます。
- 新たに第4工場の建設に着工する予定です。

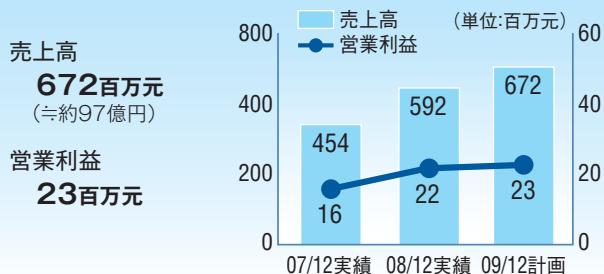


第4工場

2009年12月期計画 【売上高・営業利益推移】



2009年12月期計画 【売上高・営業利益推移】



連結決算の状況

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成20年3月31日)	当連結会計年度 (平成21年3月31日)		前連結会計年度 (平成20年3月31日)	当連結会計年度 (平成21年3月31日)
[資産の部]			[負債の部]		
I 流動資産	71,593	77,176	I 流動負債	62,684	76,342
現金及び預金	9,380	11,198	支払手形及び買掛金	29,595	28,942
受取手形及び売掛金	29,546	29,971	短期借入金	8,322	21,862
有価証券	7,349	9,900	未払費用	18,636	18,559
たな卸資産	19,131	20,219	未払法人税等	595	872
繰延税金資産	2,297	2,792	役員賞与引当金	91	88
その他	4,049	3,190	販売促進引当金	—	1,195
貸倒引当金	△161	△95	その他	5,442	4,823
II 固定資産	131,084	115,875	II 固定負債	17,478	16,601
(有形固定資産)	66,596	66,463	退職給付引当金	13,287	12,133
建物及び構築物	21,444	21,291	役員退職慰労引当金	470	344
機械装置及び運搬具	24,691	25,623	その他	3,721	4,122
工具器具備品	3,370	3,332	負債合計	80,162	92,944
土地	14,396	14,647	[純資産の部]		
その他	2,694	1,567	I 株主資本	120,633	101,495
(無形固定資産)	1,050	2,083	資本金	7,773	7,773
ソフトウェア	749	1,803	資本剰余金	7,421	7,426
その他	301	280	利益剰余金	115,932	112,935
(投資その他の資産)	63,436	47,328	自己株式	△10,493	△26,639
投資有価証券	48,794	36,819	II 評価・換算差額等	△76	△3,095
長期貸付金	1,014	952	その他有価証券評価差額金	684	△1,228
繰延税金資産	7,031	5,814	繰延ヘッジ損益	△803	△635
その他	7,628	4,134	為替換算調整勘定	43	△1,231
貸倒引当金	△1,032	△392	Ⅲ少数株主持分	1,957	1,707
資産合計	202,677	193,051	純資産合計	122,514	100,107
			負債純資産合計	202,677	193,051

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (19.4.1~20.3.31)	当連結会計年度 (20.4.1~21.3.31)
I 売上高	278,686	289,015
II 売上原価	165,197	170,250
売上総利益	113,488	118,764
III 販売費及び一般管理費	109,221	112,363
営業利益	4,267	6,401
IV 営業外収益	2,918	2,254
V 営業外費用	2,053	1,458
経常利益	5,132	7,196
VI 特別利益	754	606
VII 特別損失	1,461	5,170
税金等調整前当期純利益	4,424	2,632
法人税、住民税及び事業税	1,746	1,351
法人税等調整額	900	1,964
少数株主利益	370	383
当期純利益または当期純損失(△)	1,406	△1,067

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (19.4.1~20.3.31)	当連結会計年度 (20.4.1~21.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,724	16,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,477	△7,295
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,340	△4,582
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	△426
現金及び現金同等物の増減額	△7,034	3,778
現金及び現金同等物の期首残高	22,557	15,803
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	280	—
現金及び現金同等物の期末残高	15,803	19,581

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等	少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 利 剩 余 金	本 益 剩 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計			
平成20年3月31日残高	7,773	7,421	115,932	△10,493	120,633	△76	1,957	122,514
当連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△1,929		△1,929			△1,929
当期純損失			△1,067		△1,067			△1,067
自己株式の取得				△16,198	△16,198			△16,198
自己株式の処分		5		52	57			57
株主資本以外の項目の 当連結会計年度中の変動額(純額)						△3,019	△249	△3,269
当連結会計年度中の変動額合計	—	5	△2,996	△16,145	△19,137	△3,019	△249	△22,406
平成21年3月31日残高	7,773	7,426	112,935	△26,639	101,495	△3,095	1,707	100,107

単独決算の状況

要約貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度末 (平成20年3月31日)	当事業年度末 (平成21年3月31日)
【資産の部】		
I 流動資産	41,330	46,756
II 固定資産	110,259	96,994
(有形固定資産)	29,664	29,591
(無形固定資産)	639	1,245
(投資その他の資産)	79,955	66,157
資産合計	151,589	143,750
【負債の部】		
I 流動負債	55,327	69,878
II 固定負債	8,111	7,209
負債合計	63,439	77,087
【純資産の部】		
I 株主資本	88,308	68,544
II 評価・換算差額等	△158	△1,881
純資産合計	88,149	66,662
負債純資産合計	151,589	143,750

要約損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (19.4.1~20.3.31)	当事業年度 (20.4.1~21.3.31)
I売上高	137,510	144,490
II売上原価	73,720	76,341
売上総利益	63,789	68,148
III販売費及び一般管理費	64,136	65,926
営業利益または営業損失(△)	△346	2,221
IV営業外収益	4,534	3,903
V営業外費用	1,535	1,085
経常利益	2,653	5,039
VI特別利益	967	577
VII特別損失	1,873	5,340
税引前当期純利益	1,747	276
法人税、住民税及び事業税	428	103
法人税等調整額	576	1,866
当期純利益または当期純損失(△)	741	△1,693

要約株主資本等変動計算書

当事業年度(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本										評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計	
		資本 準備金	その 他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		任意 積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計						
平成20年3月31日残高	7,773	7,413	7	7,421	1,943	80,161	1,501	83,607	△10,493	88,308	645	△803	△158	88,149
当事業年度中の変動額														
特別償却準備金の積立						2	△2	—		—				—
特別償却準備金の取崩						△10	10	—		—				—
固定資産圧縮積立金の取崩						△40	40	—		—				—
固定資産圧縮特別勘定積立金の積立						105	△105	—		—				—
剰余金の配当							△1,929	△1,929		△1,929				△1,929
当期純損失							△1,693	△1,693		△1,693				△1,693
自己株式の取得									△16,198	△16,198				△16,198
自己株式の処分			5	5					52	57				57
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額(純額)											△1,891	168	△1,723	△1,723
当事業年度中の変動額合計	—	—	5	5	—	56	△3,680	△3,623	△16,145	△19,763	△1,891	168	△1,723	△21,487
平成21年3月31日残高	7,773	7,413	12	7,426	1,943	80,218	△2,178	79,983	△26,639	68,544	△1,246	△635	△1,881	66,662

江崎記念館の所蔵物が近代化産業遺産に認定



2009年2月、江崎記念館の所蔵物が、経済産業省より「近代化産業遺産」に認定されました。2月23日の認定式には深川修二江崎記念館館長が出席し、経済産業大臣から認定証が授与されました。江崎記念館以外には、サントリー山崎蒸留所の初代蒸留釜やシャープの国産鉱石

ラジオ1号、東芝の国産初の電気洗濯機・電気掃除機などが選ばれました。

これは、江崎記念館の所蔵品が一企業の資料としてだけでなく、日本にとって重要な資料と認められた証です。今後も大切に保存するとともに、企業内外に公開し、社会貢献に役立てていきます。

働くことの意義について語る職業講話を実施

子どもに働くことの意味や将来の目標について主体的に考えさせ、職業観や勤労観を養うことを目的に、中学校の「総合的な学習」の一環として、職業についての講話を実施しました。2008年11月10日、大阪府枚方市立中宮中学校を訪問し、1年生を対象に行いました。江崎グリコのほか、保育士、美容師、電車運転士、パティシエ、新聞記者などさまざまな職業の方に

も参加していただき、生徒にはそれぞれ興味のある職業の講話を聞いてもらいました。江崎グリコの講話では、社員が会社について、また働くことの大切さややりがいについて、クイズを交えながら話しました。途中で回覧した『ポッキー』には特に多くの関心が寄せられ、この定番商品がいかにお客様に受け入れられているかを生徒にも感じてもらうことができました。

近代化産業遺産

「近代化産業遺産」とは、幕末から昭和初期にかけて、日本の産業の近代化に寄与した製造拠点や建物、資料などを、経済産業省が認定するものです。各産業遺産は33の物語に整理されます。江崎記念館の所蔵物は、平成20年度に選定された「近代化産業遺産群 続33」の一つ「伝統食品の近代化や新たな食文化の創造に挑んだ中部・近畿の食品製造業の歩みを物語る近代化産業遺産群」として認定されました。



菓子

菓子部門

軽い食感が心地いい 細切りタイプのプリッツ。

[細切りプリッツ] 〈トマト〉〈チーズ〉〈アップル〉

プリッツを従来品の約2分の1の細さに焼き上げた『細切りプリッツ』を新発売しました。“ポリポリッ”とはじける軽い食感、素材を練り込み、芯までしっかり絡んだ旨みに、一度食べ出したら手が止まりません。チャックの付いたパウチタイプのパッケージなので、食べたい時に食べたい分だけ楽しみ、ゴミの削減にも効果的です。



果汁たっぷりの フレッシュな味わい。

[搾り果汁ガム スクイーズ] 〈レモン〉〈グレープ〉

果汁をたっぷり配合し、噛むたびにフレッシュな果汁感を味わえる『搾り果汁ガム スクイーズ』が登場しました。濃縮還元果汁パウダーを約20%も配合し、果汁本来の酸味とおいしさを実現しています。また2009年7月7日には新たに〈グリーンアップル〉と、どこにでも置いて食べやすい『スクイーズ〈アソート〉スマートポッド』を発売する予定です。



7/7
新発売!



スタイリッシュで食べやすい パウチ容器で新登場!

[アイスの実]

一口サイズで食べやすく、見た目にもかわいらしいとご好評をいただいている『アイスの実』がリニューアルしました。スタイリッシュで、かつ開封しやすいパウチ容器になり、より手軽に食べられるようになったのも特長の一つです。新たに〈いちご〉を加えた4つの味は、いずれも果汁本来の清涼感をアップしました。アウトドアで食べるのにもピッタリです。



しっとり濃厚な 二層仕立てのアイスデザート。

[コンフェ]

しっとりとしたモナカの中に、二層の濃厚アイスがぎっしり詰まった『コンフェ』は、手軽に食べられる上質なハンディデザートです。中は濃厚なバニラアイスとビスケットパウダー入りアイスの二層仕立て。ひと手間かけてビスケットパウダー入りアイスを重ねることで、濃厚なバニラアイスのコクと香りを深めました。アイスを隙間なく詰められる独自の形に開発されたモナカは口どけも良く、アイスの濃厚で深みのある味わいを引き立てます。



食品

食品部門

新製法と隠し味で さらにコク深く。

[2段熟カレー]

『2段熟カレー』が、コクを深めて新登場しました。これまで以上に深いコクを実現した理由は、長い時間をかけ、旨みのベースとなる原料をじっくり加熱する「焙煎コクアップ製法」と、アーモンドペーストの隠し味です。また1皿ずつでも作れる“らくわけ”トレーで、使いやすさも向上しました。



牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

人気のドロリッチに 第2弾新登場!!

[ドロリッチ フルーツミックスクリームin]

ご好評いただいている、ストローで飲むスイーツ『ドロリッチ』の第2弾、『ドロリッチ フルーツミックスクリームin』が新発売となりました。クラッシュフルーツゼリーとクリームとの混ざりあう新食感をお試しください。

新登場



牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

脂肪0%のプレーンヨーグルト 新登場!!

[おいしいカスピ海 脂肪0%]

独特のとろみが特長の『おいしいカスピ海』に脂肪0%タイプが新発売となりました。脂肪0%とは思えないほどのコクとまろやかさ。酸味が少なくプレーンでそのまま食べてもおいしいヨーグルトです。ぜひお試しください。



畜産加工品等

グリコ栄養食品株式会社

生野菜がおいしくなる。 ご当地、新グルメ「長崎サラダ」。

[米油で揚げた麺のパリパリサラダ]

野菜摂取を日頃から心がけている方々や、野菜が嫌いな子どもたちにもサラダをおいしく食べていただけるメニューの新提案です。香ばしい揚げ麺のパリパリ感とマヨネーズ風ごまドレッシングが絶妙です。



会社の概要

商 号 江崎グリコ株式会社
 創立年月日 大正11年2月11日
 資 本 金 7,773,681,654円
 営 業 品 目 菓子・食料品の製造および売買。飲食店の経営。
 従 業 員 数 1,099名
 本社所在地 〒555-8502
 大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号

主な事業所

- 本社
〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話(06)6477-8352
- 北海道統括支店
〒003-0807
札幌市白石区菊水7条二丁目7番1号
電話(011)812-6311
- 東北統括支店
〒981-0912
仙台市青葉区堤町一丁目1番2号
電話(022)717-2821
- 首都圏統括支店
〒108-0023
東京都港区芝浦四丁目16番23号
電話(03)3798-0717
- 中部統括支店
〒461-0022
名古屋市東区東大曽根町22番28号
電話(052)919-0714
- 近畿統括支店
〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話(06)6477-8470
- 中・四国統括支店
〒733-0003
広島市西区三篠町三丁目6番28号
電話(082)230-4111
- 九州統括支店
〒812-0013
福岡市博多区博多駅東三丁目13番28号
電話(092)474-0331

主な関係会社

北海道グリコ株式会社
 仙台グリコ株式会社
 茨城グリコ株式会社
 グリコ千葉アイスクリーム株式会社
 東京グリコ株式会社
 武生グリコ株式会社
 三重グリコ株式会社
 関西グリコ株式会社
 神戸グリコ株式会社
 グリコ兵庫アイスクリーム株式会社
 鳥取グリコ株式会社
 九州グリコ株式会社
 江栄情報システム株式会社
 株式会社グリコ物流サービス
 東北フローズン株式会社
 関西フローズン株式会社
 THAI GLICO CO., LTD.
 EZAKI GLICO USA CORP.
 上海江崎格力高食品有限公司
 上海江崎格力高南奉食品有限公司
 グリコ乳業株式会社
 グリコ栄養食品株式会社
 アイクレオ株式会社

平成21年3月31日現在

役員

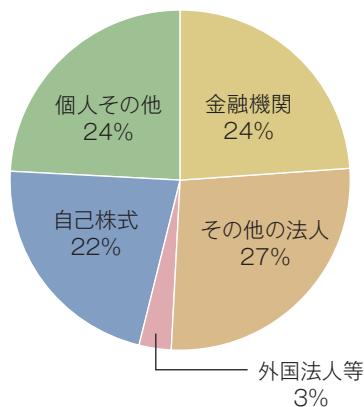
代表取締役社長	江崎 勝久	取締役	益田 哲生	監査役	玉井 英二
取締役	原 光伴	取締役	玄 洋二郎	監査役	倉持 治夫
取締役	吉田 安矩	取締役	江崎 正道	監査役	柘田 圭兒
取締役	中川 宗和	取締役	安積 正裕		
取締役	栗木 隆	監査役(常勤)	穴穂 忠男		
取締役	江崎 悦朗	監査役(常勤)	芝池 正明		

注1. 監査役のうち、玉井 英二、倉持 治夫及び柘田 圭兒の3氏は、社外監査役であります。
 注2. 取締役 玄 洋二郎氏は、平成21年6月26日をもって、辞任により退任されました。

株式の状況

会社が発行する株式の総数	470,000,000株
発行済株式総数	144,860,138株
株主数	15,358名

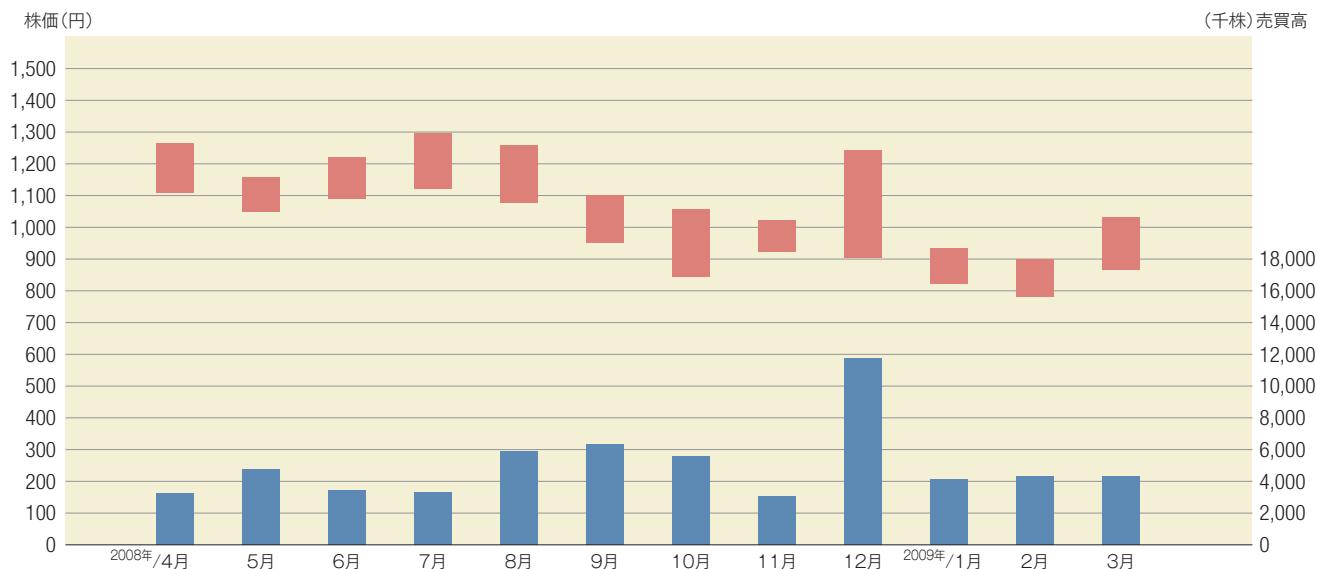
所有者別株式数比率



大株主

氏名又は名称	持株数(千株)
掬泉商事株式会社	8,263
江崎正道	7,240
大同生命保険株式会社	7,000
日清食品ホールディングス株式会社	7,000
佐賀県農業協同組合	5,887
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	3,634
大日本印刷株式会社	3,197
日本生命保険相互会社	2,342
三井住友海上火災保険株式会社	2,111
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,093

株価および株式売買高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便の場合

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

☎ 0120-176-417

インターネット ホームページURL

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告の方法

当社のホームページに掲載する。
(<http://www.glico.co.jp>)

上場証券取引所

東京証券取引所、大阪証券取引所

株主様 ご優待

1,000株以上ご所有の株主様に、つぎの要領で、当社製品の詰め合わせを贈呈させていただいております。

- 贈呈時期 6月末頃と12月中旬頃にお送りいたします。
- 贈呈基準 3月31日現在および9月30日現在の株主様へ

1,000~
1,999株



市価 約800円相当額製品

2,000~
9,999株



市価 約1,600円相当額製品

10,000株
以上



市価 約3,000円相当額製品

※写真は、詰め合わせ商品例

株券電子化後の各種手続きについて

2009年1月5日に株券電子化となりました。名義や住所の変更などのお届出やご照会、また株券電子化後の单元未満株式の買取・買増のご請求については、いくつかご注意が必要です。

1 株式に関するお届出先およびご照会先について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主メモ(17ページ)記載の住友信託銀行株式会社 証券代行部の電話照会先(0120-176-417)にご連絡ください。



※「ほふり」：株式会社証券保管振替機構

2 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座につい

てのご照会および住所変更等のお届出は、株主メモ(17ページ)記載の住友信託銀行株式会社 証券代行部の電話照会先(0120-176-417)にお願いいたします。



江崎グリコ株式会社

<http://www.glico.co.jp>